

令和4年度 モビリティコンソーシアム MaaSプラットフォームPT

第1回2022年8月29日

幕張新都心
MAKUHARI
NEW URBAN
CENTER

本日の目的とアジェンダ

本日の目的は以下 2 つあります。まず、実証実験内容について説明後、全体的な意見交換を行い、今年度の実証実験の課題解決に向け、協力体制について協議します。

目的

1. 昨年度の取組を振り返り、今年度の実証実験の内容について検討する
2. 今年度の実証実験での協力体制について協議する

	アジェンダ	発表者	時間
16:00-	イントロダクション		
	各社・メンバー紹介	各PTメンバー	15分
	今年度のPT目標・社会実装に向けた体制説明	事務局（千葉市）	5分
16:20-	今年度の実証実験の検討		
	2021年度実証及び2022年度の取り組み案について	NTTドコモ様	20分
	グループワーク①	-	20分
	今年度実証実験における課題感についての説明	NTTドコモ様	5分
	話題提供：昨年度実施した移動実態調査について説明	事務局（千葉市）	10分
	グループワーク②	-	30分
	全体共有	各PTメンバー	10分
17:55-	ラップアップ		
	本日の検討内容について総括	MONET様、NTTドコモ様	5分
	次回に向けたアナウンス	事務局（デロイト）	

参加企業紹介

以下について各社代表の方、ご挨拶をお願いいたします。

各社代表者の方
(1分程度)

1. 会社名
2. PTで実施したいこと・期待

PT参加団体名 (順不同)

MONET Technologies株式会社

京成バス株式会社

イオンモール株式会社

株式会社 J T B コミュニケーションデザイン

東日本旅客鉄道株式会社

株式会社千葉ステーションビル

株式会社建設技術研究所

東京海上日動火災保険株式会社

公益財団法人ちば国際コンベンションビューロー

株式会社ヴァル研究所

一般社団法人千葉県タクシー協会

損害保険ジャパン株式会社

株式会社 N T T ドコモ 千葉支店

長谷川工業株式会社

久留米工業大学

本日も欠席のPT参加団体名 (順不同)

三ツ矢工ミタスタクシーHD株式会社

小田急電鉄株式会社

公益社団法人千葉市観光協会

株式会社幕張メッセ

株式会社日立製作所千葉支店

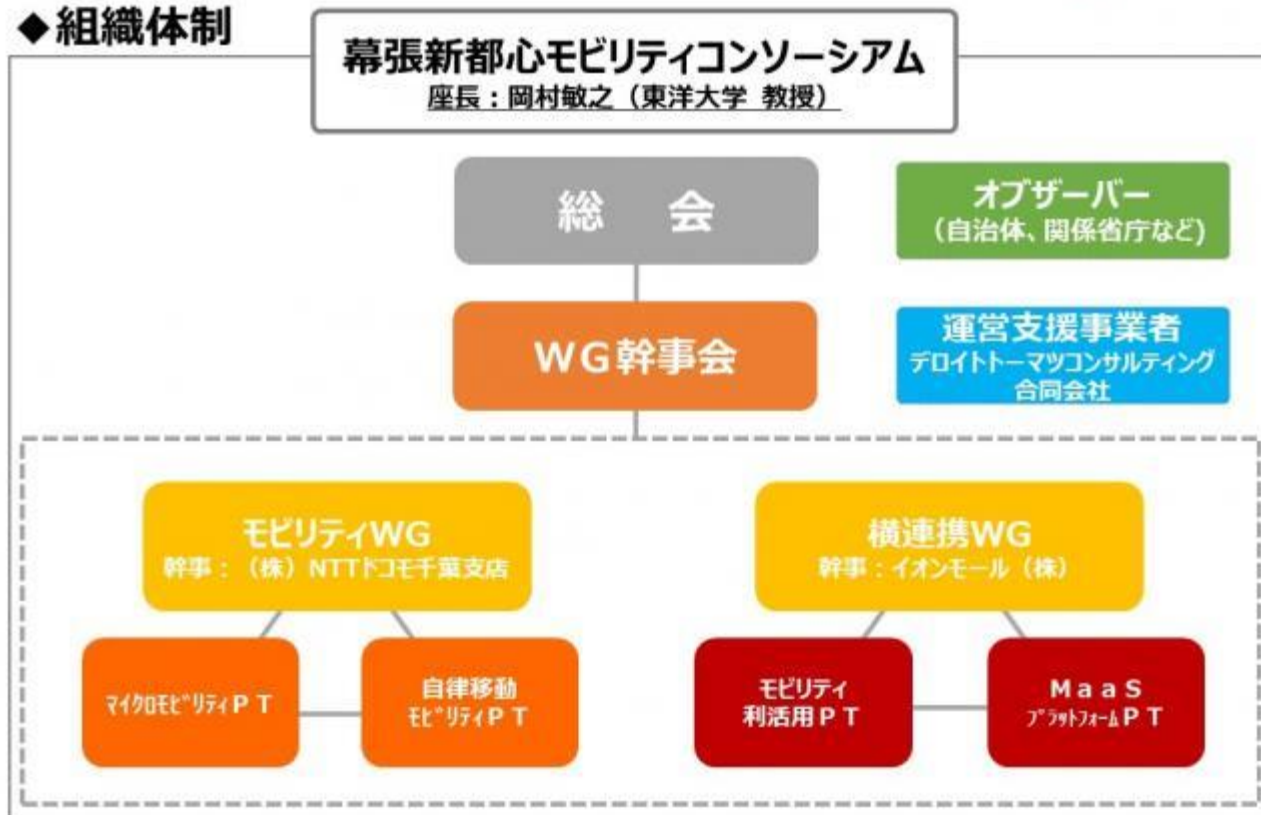
京成電鉄株式会社

シャープ株式会社

WG全体の目的の再確認

4つのPTに分かれて、それぞれの観点から検討を進め、WGで統合し、幕張新都心の新しい移動・モビリティコンテンツを創造します。

モビリティコンソーシアムの概要



来訪者や住民、就業者、就学者など様々な属性の方の幕張新都心における「移動需要」に対し、幕張新都心版MaaSを基盤とし利用者にも最適な「移動手段」・コンテンツを提供するための検討

各PTの体制案

前年度の取組みを踏まえ、各PTで行う主な取組みは以下を予定しています。

P T・・・テーマごとの各種検討や実証実験に向けた準備・各種連携を実施する場

千葉市事業（補助）

横連携
WG

モビリティ利活用
PT

- 幕張新都心における回遊性の向上に向けて、コンテンツとモビリティの両面から検討するとともに、既存資源の最適化・共有化を図ることについて検討するPT

（主な取組内容）

- ・ 回遊性向上に資する手法の具体化や課題整理、優先順位付けなどについて取り組む。
- ・ 既存資源（駐車場など）の最適化・共有化に向けて、具体的な検討を行うためのニーズ把握、課題整理などについて取り組む。

MaaS
プラットフォームPT

- 2023年春の幕張豊砂駅開業と同時期の実装を目標とする幕張新都心版MaaSについて検討するPT

（主な取組内容）

- ・ 2022年度下半期に予定している幕張新都心版MaaSの実証実験に向けて検討するとともに、実証内容の練上げなどについて取り組む。
- ・ 今後のサービス機能拡充に向けて取り組む。

MaaSの
実証実験を予定
（2022年度下半期）

※第4回総会で説明した「回遊性向上PT」と「最適化・共有化PT」については、検討した結果、「モビリティ利活用PT」として統合することに変更（前年度のモビリティ利活用WGを継承）

回遊性向上PT

最適化・共有化PT

モビリティ利活用PT

幹事会での検討結果

WG幹事企業より、特に幕張豊砂駅開業を見据えたモビリティ活用施策の検討が期待されています。

MaaSの取組みについて

- **23年春の幕張豊砂駅の開業に合わせたモビリティ関連の施策**を打ちたい。開業時のMaaSの本格的な社会実装を目指しながら、**マイクロモビリティの整備**など、可能な範囲で今後WGやPTの中で検討していきたい。
 - 特にエリア内での**シェアサイクルの利用促進**に取り組むべきではないか。
 - 幕張新都心エリアのマイクロモビリティとして第一にシェアサイクルが挙げられるので、**当該PTで幕張豊砂駅開業に向けて具体的にどんな取り組みができるかを検討したい。**
 - また、**幕張豊砂駅の駅前広場にはシェアサイクルの大規模なポートを整備する予定**。場所は広場のイオンモール側に設置し、充電ステーションも整備予定である。またJR様所有の土地に+αで整備される可能性もある。
 - 昨年度の実証ではハローサイクリングとアプリ連携し、MaaSアプリ上ではシェアリングポートの場所の表示などを行ったが、アプリリンクでは弱かったため、今後は1IDでそれぞれのサービスを使えるなどの方法を検討していく必要があるのでは。
 - **電動キックボード実証は7月末までの予定だが、2024年4月末(予定)まで延長することが決まった。道交法改正を受けてキックボードがより普及することを見据えた取り組みを進めたい。**
 - 昨年度検討した**エリア全体での盛り上げ施策(例：町全体をジャック等)について各プレイヤーと討議**することも考えられる。事務局より、MaaSにどんなことを期待しているか、移動課題をどう解決していくかのヒアリングも実施している。
 - 例えばイベント視点としては、来場者だけでなく主催者側についても見て来年も会場として使ってもらえるかどうか重要。またそのイベントの盛り上がり地域活性化にもつながるため、それぞれの施設の集客を高める施策としてMaaSが活用できるという共通認識はあるので、その辺りも踏まえた提案をしていきたい。
 - MaaS実証期間中の大規模イベントとの連携なども一案。

今年度目標

今年度は、MaaSの実証実験や社会実装に向けて検討や練上げなどを行うとともに、実装後のサービス拡張に向けた検討を進めます。

【実証実験および実装に向けた検討】

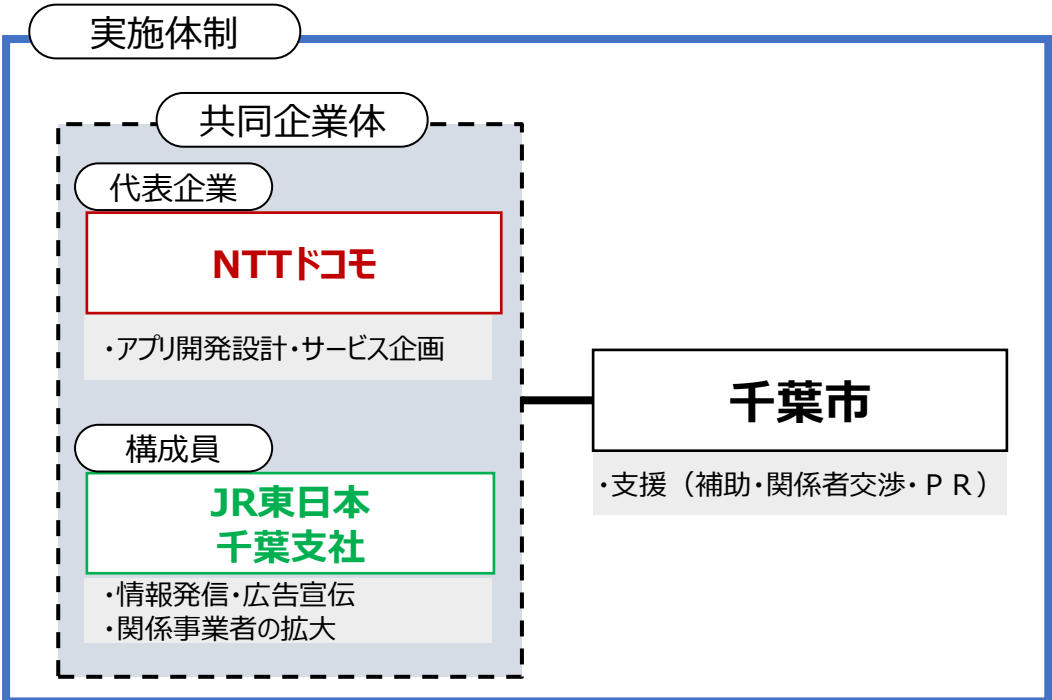
- サービスに関する検討
 - 幕張豊砂駅開業後に実装できるとよいサービス
 - モビリティサービスとの連携手法
 - サービスの広報・PR手法の検討
- 実証実験の評価指標検討
- サービス成功に向けた連携体制・ビジネスモデルの協議
- コンソーシアム非加入団体との連携方法検討

【実装後のサービス拡張に向けた検討】

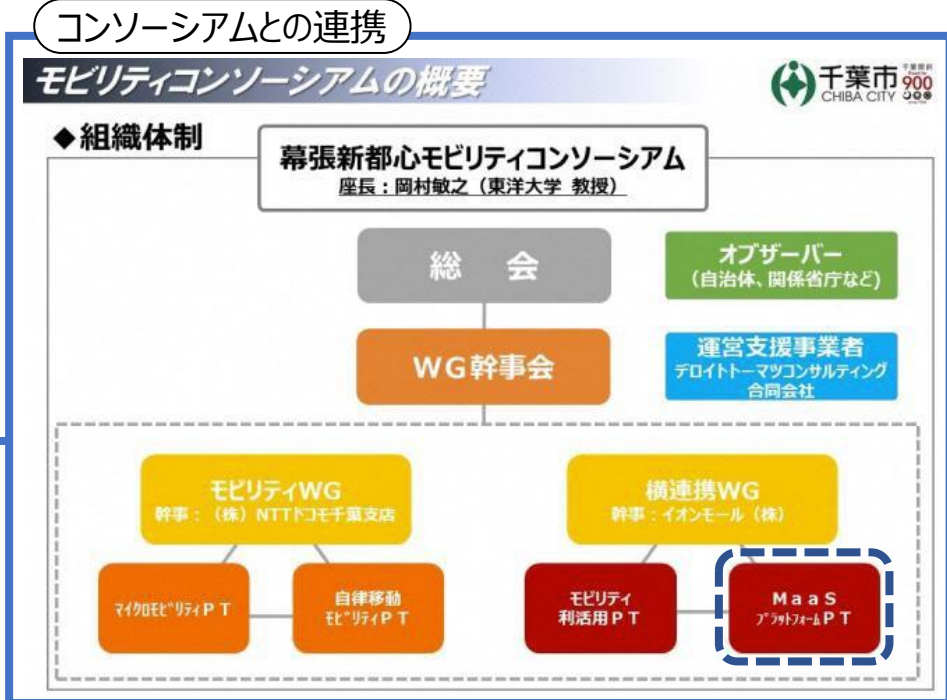
- 社会実装における将来的なサービスの在り方についての検討
- 将来的に拡張すべきサービス案出し・優先順位付け・課題検討
- 行政サービスの組み込み検討

社会実装に向けた体制

7月末にMaaS実証採択者を決定し、今後は以下の体制で社会実装（サービス拡張を含む）に向けて進める予定です。



上記のほか、NTTグループ様（店舗コンテンツの管理、利用データの収集及び取りまとめ、行動変容エンジン開発等）、JR東日本マーケティング本部様（サービスの企画等）、商業施設様（クーポン発行等）、交通事業者様（地域交通サービス、システム連携等）と連携しながら取り組む

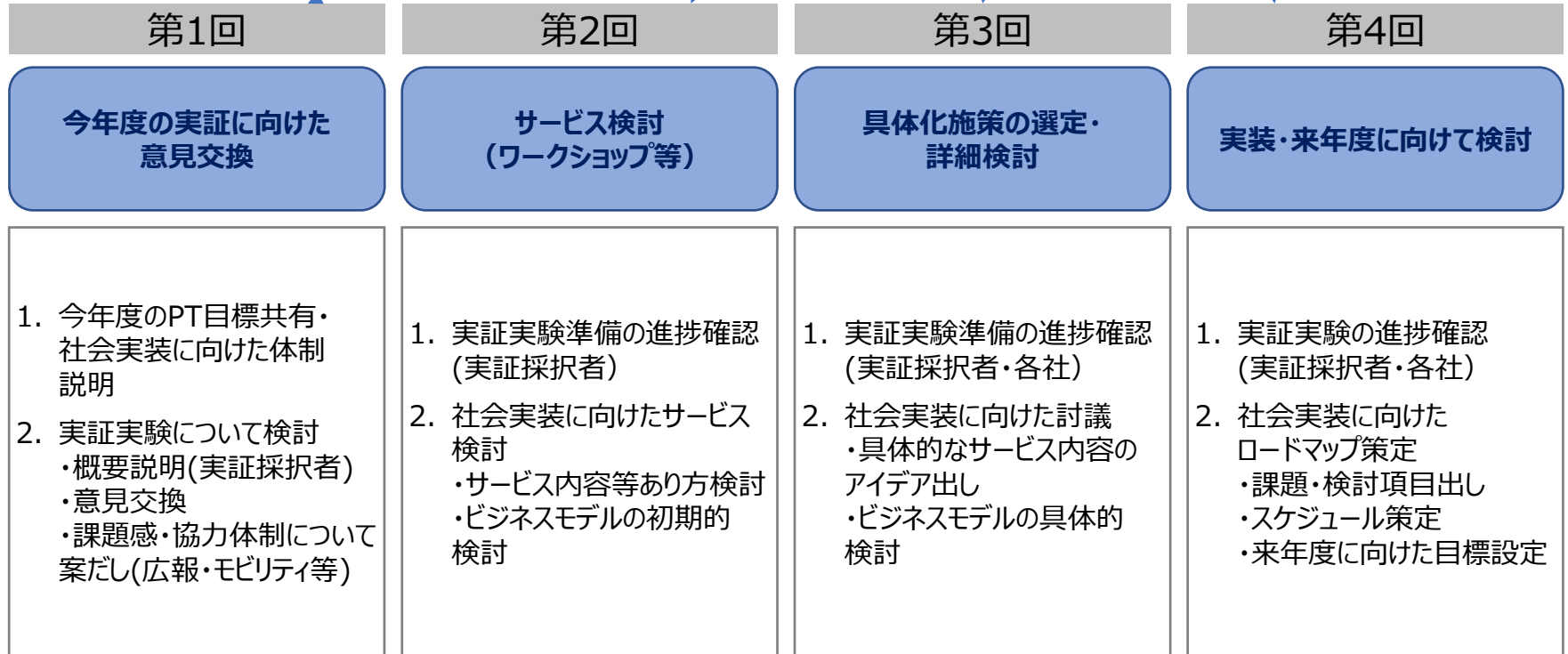


- MaaSプラットフォームPTでは、MaaSの社会実装に向けて進捗確認・意見交換・課題出しを行う
- 他のPTでは、モビリティ等のMaaSへの連携も視野に入れながら検討を進める。

PT全体の予定

全4回を通じて、MaaSの今年度の実証実験と、社会実装に向けたサービス検討・連携を深めます。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
マイルストーン			WG #1			PT #1	WG #2	PT #3		PT #4	WG #3	
実施事項				MaaS 実証公募							MaaS 実証実験	



NTTドコモ様からご共有

(2021年度実証及び2022年度の取り組み案について)

グループワーク①

今年度の実証実験についての意見交換を行います。

ワークの 目的

今年度実証実験について、皆様のご意見等を洗い出します

ワークの 前提

頂いたご意見は、今年度の実証実験、将来的な社会実装に向けての検討材料にさせていただきます

ワークの 進め方

- 自己紹介
 - お名前・所属
 - 最近注目しているMaaSとその理由
(ない方は、MaaS事業に期待する理由)
- 今年度のPT目標及び実証実験についての感想共有
 - 発表を受けて、関わりたいと思ったところ
 - サービス内容／実証項目について良い点、さらにブラッシュアップできると感じた点
 - その他、検討すべき点やご意見など

NTTドコモ様からご共有

(今年度実証実験における課題感についての説明)

昨年度実施した移動実態調査から、 住民と来訪者の実態について共有

事務局

グループワーク②の話題提供

住民・来訪者の移動実態について改めて確認したうえで、今年度の実証実験をよりよくするため、テーマごとにどのように協力していけるかを話し合います。そこで、2021年度に実施した「幕張新都心版 MaaS移動実態調査」の回答データから、住民や来訪者の移動実態を確認します。

来訪者

鉄道利用の来訪者は20代～50代が多く、鉄道以外の来訪者は30代～50代が多い。
→若い世代からファミリー層を中心として来訪される方が多い。

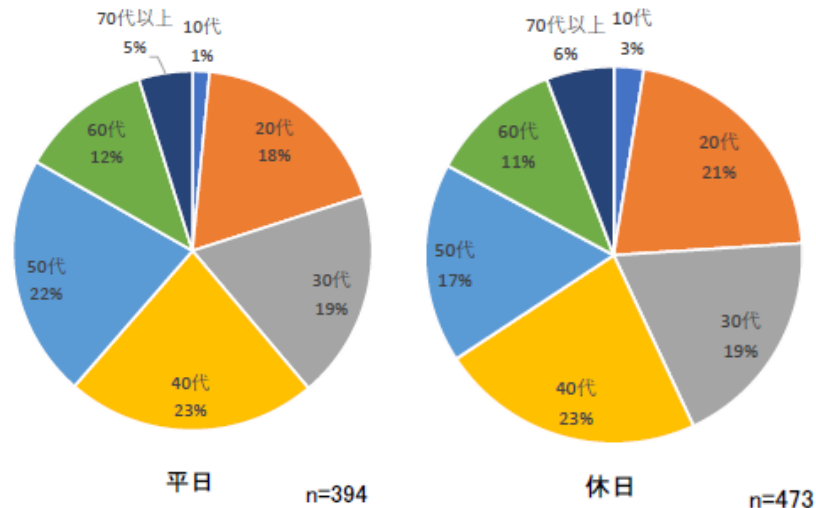
2-2. 移動実態調査 ①聞き取りアンケート

■ 調査結果

● 年齢構成

平日・休日とも40代が最も多く、20代～50代同程度の割合

来訪者（鉄道利用）



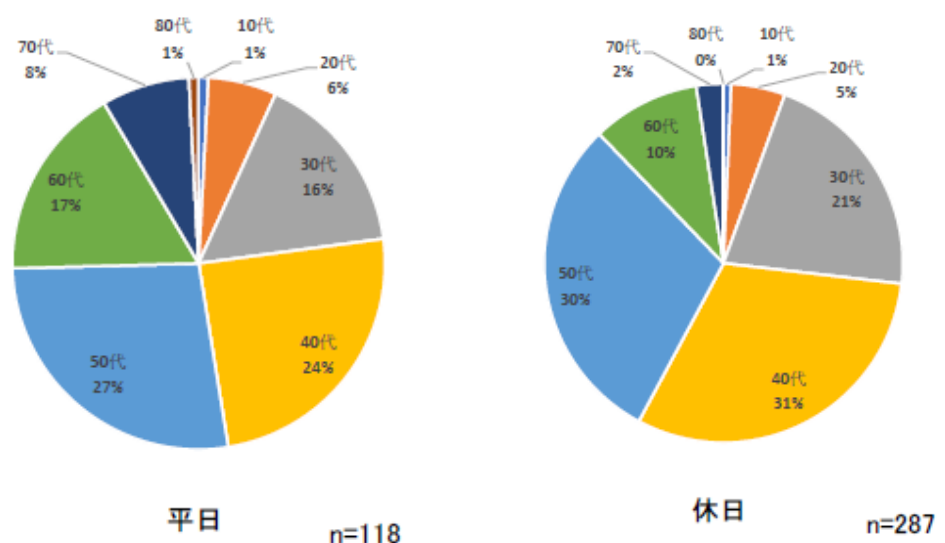
2-2. 移動実態調査 ③-1 Webアンケート調査(鉄道以外の来訪者)²⁰

■ 調査結果

● 年齢構成

平日の回答は、50代が最も多く、30代～60代がそれぞれ約2割～3割となっている。
休日の回答は、40代が最も多く、30代～50代がそれぞれ約2割～3割となっている。

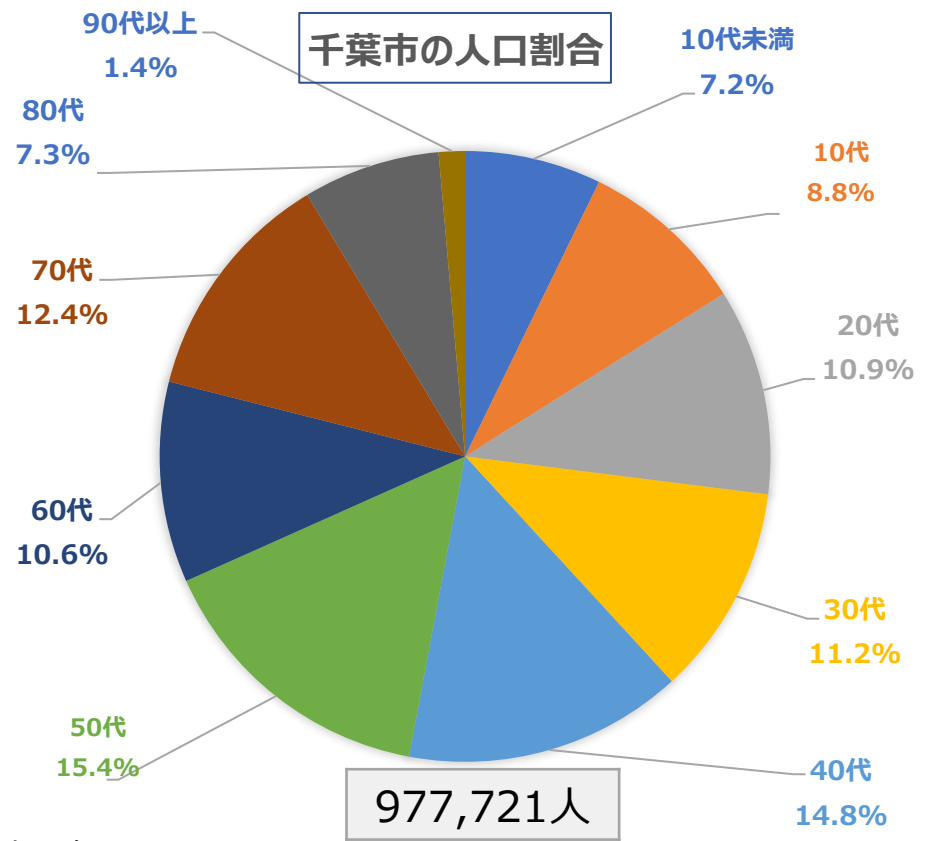
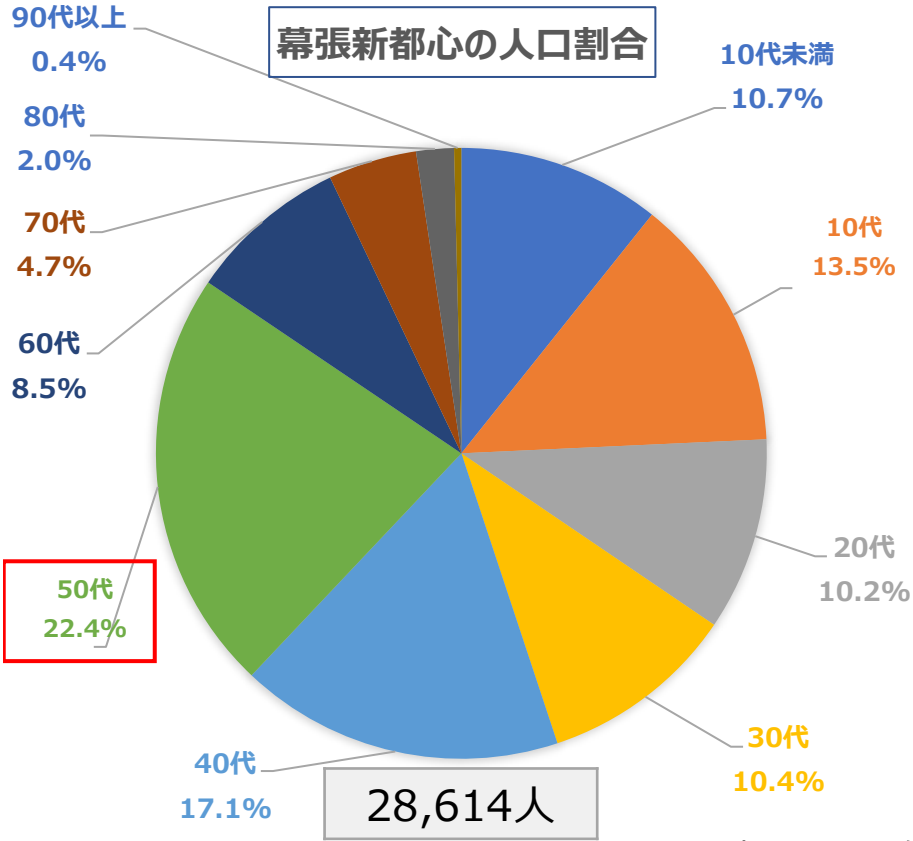
来訪者（主に自家用車利用）



グループワーク②の話題提供

住民

幕張新都心は50代が最も人口が多く、その次に40代が多い。
 また、千葉市全体と比較して、10代や10代未満の割合も多い。



※時点：2022年6月末現在
 出典：住民基本台帳
 幕張新都心は打瀬1～3丁目、若葉3丁目で算出

グループワーク②の話題提供

幕張新都心内での移動手段や案内などに関して不便と感じている実態があります。

2-2. 移動実態調査

①聞き取りアンケート

15

●幕張新都心内の移動で不便と感じること

来訪者（鉄道利用）

・不便と感じることは、「移動手段」、「施設までの移動」、「道路環境・施設」の3つに大別される。
 「幕張新都心内の移動は分かりづらい」「徒歩では遠い」、「バスが不便」、「渋滞」などが主な意見。

分類	主な意見	分類	主な意見	分類	主な意見
徒歩移動	幕張新都心内が迷路のようで分かりづらい 施設間の移動距離長い 歩くと遠い 歩くのがつらい 移動手段がない 電動キックボードを増やす	イオンモールまでの移動	イオンモールまでの交通が不便 徒歩だと遠い イオンモールまでの歩道が歩きづらい イオンモールの近くに駅があると良い バスは無料が良い	道路環境	案内表示が少ない 階段・歩道橋が多い 動く歩道が欲しい 自転車専用レーンが狭い、整備されていない 雨に濡れないようにしてほしい
バス移動	バスの案内がわかりづらい バスルートが分からない 渋滞でバスより徒歩が早い バスの本数が少ない バス停が少ない	メッセまでの移動	メッセが遠く、歩道橋・階段を歩くのが不便 メッセ間の循環バスがほしい 幕張本郷からの直通バスが少ない メッセと他施設までの距離がある	海浜幕張駅	駅改札が1つで混雑する 駅が階段でエスカレーターがない ロータリーが狭い 便数を増やしてほしい
車移動	渋滞している 車がないと海側への移動が不便 駐車場が少ない			他地域へのアクセス	JR総武線までのアクセス 他地域へのアクセスが悪い
シェアサイクル	シェアサイクルが無い 整備不良がある	マリスタジアムまでの移動	マリスタジアムまでの交通が不便	施設	飲食店が少ない 買い物不便
タクシー	タクシーが少ない			その他	海岸沿いの開発

- ・幕張新都心内の移動はわかりづらい
- ・案内表示が少ない
- ・徒歩移動に関する意見が多い

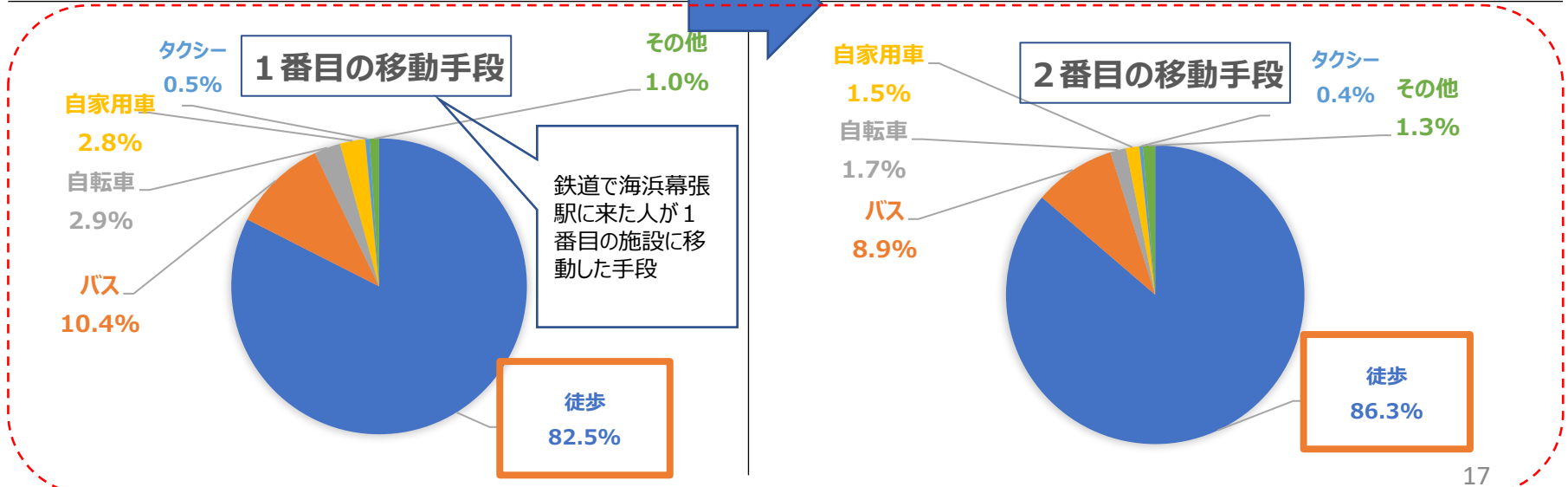
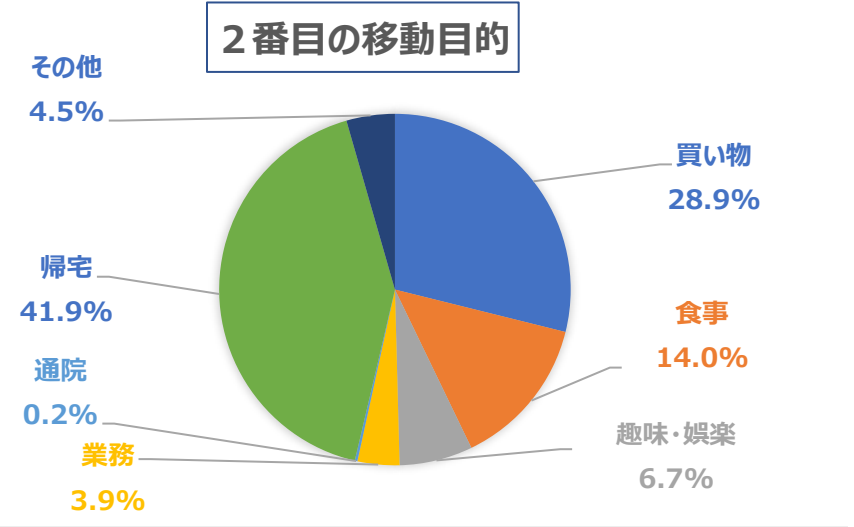
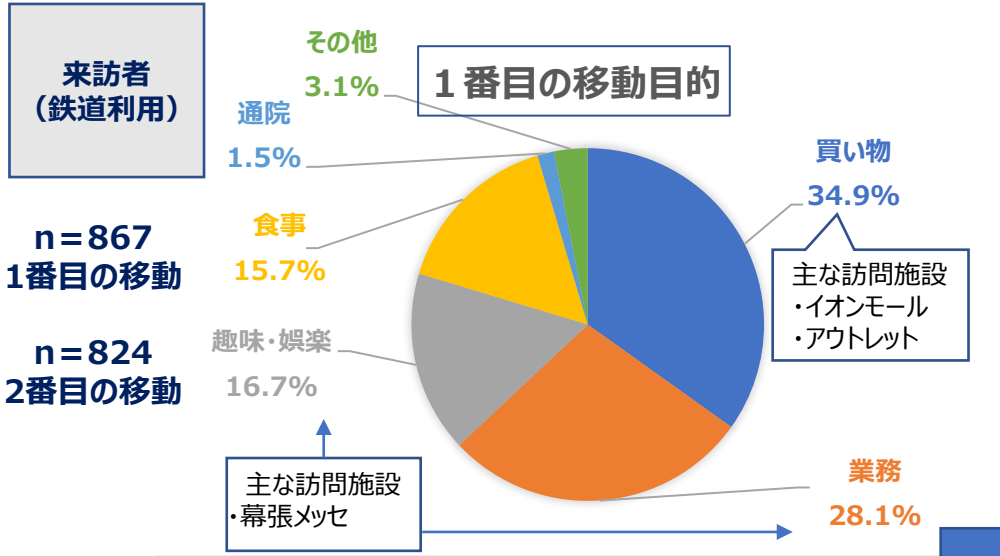


来訪者は、幕張新都心でどのような「移動手段」があるのかわからない

グループワーク②の話題提供

幕張新都心に鉄道で来訪した人の移動目的と移動手段

【特徴】
 ・移動手段は徒歩が特に多い
 → **(仮説) 移動手段がわからないから 徒歩が多いのではないか**



グループワーク②の話題提供

移動手段（モビリティ）の案内だけでなく、移動目的（コンテンツ）を創出する仕掛けも必要ではないかと考えます。

2-2. 移動実態調査

①聞き取りアンケート

16

来訪者（鉄道利用）

●幕張新都心にあれば訪れる施設

幕張新都心にあれば訪れる施設は、「飲食店」、「商業施設」、「娯楽施設」、「公的施設」に分類。

・要望のある施設は、カフェ、アウトレットの拡大・拡充、スーパー、デパート、本屋、温泉・スーパー銭湯、遊園地、図書館は複数の方から挙げられている。

・温泉・スーパー銭湯や図書館などは、幕張新都心内に立地しているものの、距離が遠いなどの理由で認知されていないことも想定される。

分類	主な施設
飲食店	レストラン・食事処【10】、カフェ（駅前、海岸沿い、河川沿い）【7】、居酒屋【4】、個人飲食店（チェーン店以外）【3】、パン屋【1】、洋菓子店【1】、定食屋・うどん屋【1】
商業施設	アウトレットの拡大・拡充（飲食、店舗、電器）【5】 スーパー【8】、デパート【4】、ショッピングモール【2】、デパ地下【1】 本屋【4】、無印良品【4】、ドラッグストア【3】、ブランド化粧品店【1】、雑貨店【1】、百元均一【1】
娯楽施設	温泉・スーパー銭湯【6】、キッズスペース【4】、美容施設【1】 アニメ関連施設（アニメイト等）【3】 映画館【2】、ライブスタジオ【2】、カラオケ【1】 スポーツ施設（プール、サイクルスタジアム）【5】、遊園地【3】
公的施設	郵便局【1】、銀行【1】 図書館【9】、公民館・コミュニティーセンター【1】、病院【1】 公園（子どもが遊べる）【2】、美術館【1】

【 】内数字は意見数

・飲食店等は多くの方から要望をいただいている
・一部の娯楽施設等は幕張新都心内に立地しているにもかかわらず、認知されていない



（仮説）

来訪者に対し以下の取組みが有効ではないか。

- ・来訪者が求める情報を発信・案内（レコメンド・サインージなど）
- ・モビリティと各施設が連携した取組み（クーポン・イベントなど）

グループワーク②

今年度の取組をよりよくするため、各テーマごとにどのように協力していけるかを話し合います

ワークの
目的

今年度の取組をよりよくするため、チームごとに実施できること、協力体制についてアイデア出し

1

幕張エリア内での
サービス認知
(住民向け)

2

幕張エリア外への
サービス認知
(来街者向け)

3

目的想起のための
イベント・施設情報の配信
(住民・来街者)

4

移動のための
モビリティ連携
(住民・来街者)

チーム
分け

ワークの
進め方

- 課題と今年度の方向性を踏まえ、取組のアイデア出し
 - どのようなターゲットに対して、どのような取り組みが有効か
 - さらにアイデアをよりよくするには、どのような工夫ができるか

- 協力体制を考える
 - 現在でたアイデアのなかで、自社でできそうなこと、持ち帰って検討できそうなことはあるか
 - コンソーシアム非加入で連携すべき企業・団体があるか

